

能登教務所通信

1月

教区教化テーマ

人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん

教区教化事業のご案内

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・日時 2023年1月21日(土) 午後2時～午後4時
- ・講師 加藤 雅輝 氏(小松教区遠慶寺)
- ・講題 未定
- ・定員 20名 ※先着順。チラシ(先月号同封)の申込用紙、メール、電話にてお申し込みください。
- ・参加費 500円

◆法人会計事務講習会◆ 過疎問題対策委員会

- ・日時 2023年2月11日(土) 午後1時30分～午後4時
- ・講師 河村 照円 氏(税理士/行政書士/真言宗智山派阿弥陀院住職)
- ・定員 30名 ※先着順。チラシの申し込み用紙、メール、電話にてお申し込みください。
- ・参加費 1,000円
- ・備考 ご自宅からのリモート参加も可能です。
翌日講師との個別相談会を開催(要申込/詳細はチラシにて)

◆和讃研修会◆ 研修部門

- ・日時 第1回 2023年1月20日(金) 午後1時30分～午後4時
第2回 2023年2月22日(水) 午後1時30分～午後4時
- ・講師 藤場 俊基 氏(金沢教区 常讃寺)
- ・内容 「高僧和讃」に学ぶ
- ・持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者のみ)、筆記用具等
- ・定員 20名 ※先着順で締め切ります。チラシの申込用紙、メール、電話にてお申し込みください。
- ・参加費 500円/1回
- ・備考 どなたでもご参加いただけます。また、教師陞補第1種認定の講座となります。
詳細は先月号同封のチラシをご覧ください。
今年度で和讃研修会は閉講となります。ご承知おきください。

◆得度事前研修会◆ 研修部門

- ・日時 2023年2月4日(土)、2月18日(土)、午後1時30分～午後4時30分
2023年2月25日(土)、午前8時30分～午後2時
- ・講師 講話:元藤 了賢 氏、竹津 篤義 氏
声明、装束:濤 恵周 氏、藤井 良秀 氏、藤井 如子 氏、伊賀 頼成 氏
- ・対象 得度受式希望者
- ・参加費 3,000円
- ・その他 詳細は先月号同封の案内をご覧ください、1月27日(金)までにお申し込みください。
また、事前に十分お稽古をして受講してください。

教化事業・その他行事のご報告

◇能登教区報恩講◇ 総合教化本部

報恩講に寄せて

私は鹿島郡南大谷村大字山崎字小川内という23戸の小村に生まれました。(昭和28年に七尾市に合併)在所の農家は425反の田んぼを耕やし、炭焼きをしながら木炭を作り、秋から初冬にかけて葛を堀り高地葛として宝達葛と並び称せられるまでになりました。

冬は苧を織り北海道のニシン場に送りカマスとして重宝されたようです。

そんな中、12月の初め近郊近在の門徒衆が母の実家で仏間・座敷・茶の間の3部屋がすべて満座となり、報恩講が営まれました。

光圓寺の住職の読経があり、法話は50cmの高さ、1cm四方の台座で親鸞聖人のお話をいただきました。皆さんはなんまんだぶつと唱えて有難く拝聴していた姿が目には浮かびます。

そして、全員にぜんざい(あずきがい)をふるまい報恩講が終了しました。子どもごころに楽しみにしていたことを思い出しました。

小川 兵作(推進員協議会会長)

今回も実行委員の一員として教区報恩講に参加させていただきました。例年、私の主な役割は「記録係」なので、時代遅れの大きなカメラをぶら下げて済美精舎内外を歩き回り、なるべくいろんな角度からこの報恩講の場を見つめようと心がけています。

感染防止対策によって、教区報恩講は大きく様変わりしました。お斎も宿泊もなくなり、お逮夜の日、まだ明るいうちに誰もいなくなってしまう光景は、何度見ても寂しく感じます。人が少なくなり動きやすくなったのは、写真を撮るにはいいのですが、誰もがマスクで顔を隠している状況では、カメラを向けることに若干の空しさも覚えるのが正直なところです。

それでも、ファインダーを覗いた先には、それぞれの立場でこの大切な聞法場をつくり、支えている人たちがたくさんいました。厳かな儀式を執行する声明会・雅鳳会と入内僧の方々。事前のおみがきや大掃除、当日は受付係や賽銭係、駐車場係、雨中での後片付けまで、大変多くを担われた御門徒の皆様。何日も前から誰もいない本堂で黙々とお花を立てる人にも会いました。挙げるときりがありません。

仏法聴聞の場というのは、全員参加でみんなできり上げるものなのだと、あらためて実感しました。主役や裏方さんやお客さんがいるのではなく、誰もが主催者であり、責任者なのだ。

全日程が終了し恩徳讃を唱和した後、数年前とは比較にならないほど人の密度の低い堂内に、マスク越しのお念仏の音が、それでも驚くほど大きく響き渡ったのを聞いた時、感動を覚えました。この度もこの場づくりに参画させていただけたことに感謝いたします。

靈崎 秀史(実行委員)



教区教化テーマについて 連載コラム第4号

「人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん」

七尾市中島町に、300年の間、赤々と燃え続ける囲炉裏火を護り続け、生活の種火とし、お内仏の御灯明を灯し続けた、ある真宗の御門徒がおられました。

毎月の親鸞聖人御命日講には欠かさずご夫婦でお参りされ、御家庭での報恩講も毎年丁寧に勤められました。

「火様(ひさま)、絶やさんのが、おらがつとめや」

笑顔で、そう語られていたお姿には、家の伝統に対する気負いは感じられず、共に囲炉裏火を護り、先に御浄土へ還られた夫の願いを生きる喜びに満ちていました。

その真宗の御門徒によって護られた「火様」は近年、羽咋・鹿島で200年以上続く伝統の仏事「歓喜光院殿御崇敬」が中島町の御寺院で執り行われたときに、本堂の御灯明の種火とされ伝統の仏事を照らしました。

その方の笑顔の中に、お念仏に出遇われ、御本尊を中心とする生活に生かされ、喜び合い、法の灯火を護ってこられた能登の人々の歴史と歩みを見たようにおもいます。

今、我々は人口の過疎、そしてコロナ禍という問題に直面しています。

それは、お念仏に出遇う法縁の過疎という、宗門を生きる我々自身の問題でもあります。

様々な困難を抱える今だからこそ、私たちは、お念仏に出遇われた一人の願いに立ち返り、御本尊を中心とする生活を取り戻すべきなのではないでしょうか。

2023年に宗門は、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要をお迎えます。

これを機縁として、私たちは、お念仏に出逢った一人の喜びや、子や孫に伝えたいという一人の願いに応えるために、法縁の過疎という問題に謙虚に向き合い、問い続けねばならないと思います。

文責：江尻 晃邦(同朋会推進部長)

本山・教区事務についてのご連絡

◇教区新年互礼会について◇(再掲)

新型コロナの影響により、2021年より開催を見合わせておりました新年互例会ですが、感染対策を行ったうえで、**2023年1月13日(金)に和倉温泉「のと楽」において開催いたします。**寺族、ご門徒など有縁の方々をお誘いの上、是非多くの方にご参加いただきたく思います。

詳細は先月号同封のチラシをご覧の上、ご出席される場合は**1月10日(火)までに先月号同封のハガキにて**お申し込みください。

また、このたび、全国旅行支援「いしかわ旅行割」キャンペーンが継続されることが正式に発表されました。

つきましては、下記のとおり、会費を変更(減額)させていただきます。

会費1泊2食 男性：14,000円 ⇒ 12,000円 (宿泊無しの場合 9,000円※)

女性：13,000円 ⇒ 11,000円 (宿泊無しの場合 8,000円※)

※宿泊無しの場合の会費については、変更ございません。

会費が減額となりました。一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

◇正副組長選挙の結果について◇

任期満了に伴う正副組長選挙により、次の方々が正副組長に就任されました。

任期(2022年12月1日～2026年3月31日)

(敬称略)

組	役職	氏名	所属寺
第1組	組長	萩原 晃俊	浄善寺
	副組長	安多 真一	教圓寺
		柳梅 智行	浄安寺
第2組	組長	佐竹 成	専勝寺
	副組長	大町 慶華	専修寺
第3派方組	組長	谷野 了	明蓮寺
	副組長	矢口 泰淳	光念寺
第3山方組	組長	坪井 順成	照願寺
	副組長	東 玲	誓伝寺
第4組	組長	貫井 和也	恵光寺
	副組長	靈崎 秀史	長光寺
		黒萩 正恵	法誓寺
第5組	組長	木越 祐馨	光琳寺
	副組長	慶塚 忍	永法寺
第6組	組長	鳥毛 敬三	浄蓮寺
	副組長	梯 浄円	願行寺
第7組	組長	橘 昌憲	佛照寺
	副組長	安藤 真	願誓寺

組	役職	氏名	所属寺
第8組	組長	佐々木 恵照	真念寺
	副組長	泉口 智	長栄寺
鵜川組	組長	廣瀬 彰一	徳善寺
	副組長	松田 直樹	善行寺
穴水組	組長	堀河 正見	弘誓寺
	副組長	不二井 悟史	西蓮寺
第10組	組長	篠岡 裕	等覺寺
	副組長	春岡 悟	専行寺
		松下 春樹	勝樂寺
第11組	組長	寺田 彰	長正寺
	副組長	隆 彰見	聖徳寺
第12組	組長	長原 祐城	西永寺
	副組長	白藤 穰	長善寺
第13組	組長	寺島 哲	浄覺寺
	副組長	藤原 彰洋	養泉寺
第14組	組長	大鳳 珠映	託因寺
	副組長	大橋 順正	徳生寺

◇選出教区会議員選挙の結果について◇

2022年12月24日施行の教区会議員選挙により次の方々が教区会議員に当選されました。

任期(2022年12月24日～2026年4月23日)

(敬称略)

組	氏名	所属寺
第1組	国門 源量	覺正寺
第3派方組	矢口 泰淳	光念寺
第4組	靈崎 秀史	長光寺
第6組	梯 浄円	願行寺
第7組	高柳 央子	光榮寺
第8組	松原 洋	正願寺
鵜川組	松田 直樹	善行寺

組	氏名	所属寺
第10組	倉見 理	光樂寺
第10組	完 恵	永誓寺
第11組	隆 彰見	聖徳寺
第12組	白藤 穰	長善寺
第13組	松谷 一峰	妙樂寺
第14組	伊賀 正道	信行寺

◇教務所事務休暇について◇

下記の期間、年末年始事務休暇とさせていただきます。

2022年12月29日(木)～2023年1月5日(木)まで

※1月6日(金)より通常通り事務を始めます。休暇中はご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願ひいたします。緊急の際には下記教務所携帯電話までご連絡ください。

緊急連絡先携帯番号 090-5685-5611

◇本山経常費年末完納について◇

能登教区では、「年末金」として12月中に多くの御寺院に経常費御依頼金を御完納いただいておりますこと、誠に感謝申し上げます。今年度の**年末完納扱いは2023年1月20日(金)まで**となっておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

なお、ご完納の際、法要座次・衣体許可等の申請をご希望される方は、教務所までお申し付けください。(年末完納での申請の際は、内規額を10分の8に減額することができます。)

◇本山経常費完納寺院◇(2022.11.1~11.30迄)

2022年度本山経常費をご完納いただき、ありがとうございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第2組	成正寺	子浦専勝寺	正行寺	鶺川組	光樂寺	一念寺
	光福寺			穴水組	極生寺	
第3山方組	安入寺			第10組	徳勝寺	長願寺
第4組	正久寺	専明寺		第11組	善正寺	
第6組	妙行寺	願入寺		第12組	徳蓮寺	傳流寺
第7組	専照寺			第13組	西休寺	
第8組	養覺寺	寶樹寺	願正寺	第14組	託因寺	
	行念寺					

◇宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃懇志金完納寺院◇

(2022.11.1~11.30迄)

2019年度より募財をお願いしております慶讃懇志金につきまして、ご完納いただきありがとうございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第2組 成正寺 正行寺 第12組 傳流寺

◇代務者就任◇(教区通信12月号 掲載以降)

第5組 本勝寺 不二井 誠 (第5組智雲寺住職) 2022年11月23日

第8組 成榮寺 豊田 榮夫 (第10組高林寺住職) 2022年12月10日

第13組 大泉寺 長谷部 隆男 (東京教区川崎組重蓮寺住職) 2022年12月13日

◇敬弔◇(教区通信12月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第3山方組 妙專寺 住職 福岡 弘宣 2022年11月21日

第7組 長樂寺 前坊守 上野 枝美子 2022年12月1日

第4組 本照寺 前坊守 吉塚 雅子 2022年12月2日

第13組 正願寺 前住職 聖川 純生 2022年12月7日

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。

発行責任者 能登教務所長 竹原 了珠

発行日 2022年12月28日

能登教区教化テーマ 人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん

慶讃テーマ 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

能登教区ホームページアドレス URL <http://ohigashi-noto.jp/>